

アグリワークポイント AGRIWORKPOINT



着花管理

果樹林産センター 青島 大貴



近年、樹ごとで花のバラツキが大きくなっているため、樹の状態にあった管理を行いましょう。

《着花の多い樹》

有葉花摘蕾を行い、来年の結果母枝を確保します。長さ5センチ以上または新葉5枚以上の有葉花の摘蕾が目安です。

《着花の少ない樹》

花と新梢との養分の奪い合いで生理落果が助長してしまいます。着果させたい花の近くの新梢を芽かき、あるいは摘芯する事で、果実に分配される養分を増やして生理落果を抑制します。

葉面散布

開花期前から1次生理落果が始まる前までに尿素500倍を後述の病害虫防除剤に混用し、3回程度散布をします。着花の多い樹は樹勢維持と回復を、着花の少ない樹は早期の新梢の緑化により生理落果が軽減します。

病害虫防除

開花期は、灰色カビ病・訪花昆虫の防除時期です。灰色カビ病は落弁期の降雨により花弁が幼果に付着することで発病し、果実にキズがつきます。訪花昆虫は開花期に花粉や蜜を求めて飛来し果実に細かいキズを付けます。開花時期がバラつきやすい青島温州は五分咲期と落弁期に防除する。

・五分咲期

灰色カビ病 フロンサイドSC

2500倍 (30日1回)

訪花昆虫 モスピランSL液剤

3000倍 (14日13回)

・落弁期

灰色カビ病・そうか病 ナリアWDG

2000倍 (14日13回)

開花後のかん水

5月の降水量が少ないと、土壌が乾燥して生理落果が増えてしまう場合があります。開花後、10t程度雨のまとまった雨が降らない場合は、10a当たり3t程度を目安にかん水してください。